



## 「誤嚥性肺炎」と「とろみ剤の正しい使い方」

日本人の死因第3位が肺炎で、その中でも**誤嚥性肺炎**が高い割合を占めることをご存知でしょうか。高齢者の増加とともに、肺炎による死亡率はさらに増加すると予想されています。そこで今回は、誤嚥性肺炎の原因と対策、とろみ剤の使用上の注意点についてまとめました。



### 誤嚥性肺炎の原因

のど仏を上げる力が弱くなると、気管をふさぐ弁が完全に閉じきらず、飲み込んだ液体が気管に入ってしまいます。元気な方はむせることで対処することができますが、むせることができず気管内に液体が入り込んでしまうと、そこに含まれる病原菌により炎症が起こり、肺炎になってしまいます。

### とろみ剤使用による誤嚥対策

液体にとろみをつけ、咽頭通過のスピードを遅くし、高齢者が飲み込みやすいタイミングにしてあげることで、誤って気管に入ることを防ぎます。



### とろみ剤使用上の注意点

#### ① とろみがつく「条件」

飲料の**種類**や、**温度帯**によってとろみがつくまでの時間が変わります。なかなかとろみがつかないからといって、むやみにとろみ剤を追加してしまうと、時間の経過とともに粘度が強くなってしまいます。とろみのつきすぎは口腔内に食べ物が残留する可能性があります、また飲み込む力を必要とするので、かえって誤嚥のリスクが高くなります。

#### ② とろみ剤の「追加方法」

とろみの粘度を強くしたい場合は、元々とろみのついているものにとろみ剤を注ぎいれるとダマになりやすいので、とろみが強くついたものを別に作り、粘度を上げたいところに混ぜて調整するのが、正しい使い方です。



#### ③ 一度に口に運ぶ「量」

一度に口に運ぶ量は**ティースプーン1杯**くらいの量が望ましく、カレースプーン大の量は口腔内に食べ物が残留する可能性があります、誤嚥につながる場合があります。

#### ④ 飲み込むときの「姿勢」

顎があがった状態だと誤嚥しやすいので顎をひいた姿勢が望ましいです。

※商品によって若干、性質が異なりますので、使用前に必ず各メーカーの注意事項をご確認ください。

ご利用者様の健康状態を把握し、正しい用法・容量を守って使用することで、誤嚥性肺炎になるリスクを減らすことができます。この記事を読んで、「これは知らなかった」、「今まで誤った使い方をしていた」など、少しでも気づくことがあれば幸いです。

※コムテックでは、各種とろみ剤の販売をしております。

サンプルもご用意できますので、ご希望の方はお気軽にコムテックまでお問い合わせください。



各とろみ製品（コムテック在庫分）

# The職人シリーズ第5弾 “シュリンク包装”

はあとこむ通信おなじみの「The職人シリーズ」。今回は物流部で今年の夏より新しく導入致しました「**シュリンク包装**」について、ご紹介致します。



「シュリンクトンネル」と「シーラー」の2つの機械を使って包装します。

**シュリンク包装**とは、あらかじめ熱収縮性プラスチックフィルムで包まれた被包装物を加熱し、その商品の形状に密着させる包装の事を言います。



カタログや日用品の他、液モノや食品なども包装可能で、コムテックでは、お客様別の包装、使用目的に応じたセット包装、洗剤などの匂いの強い商品の包装などに役立っています。

## シュリンク包装の流れ

シュリンク包装作業の流れを簡単にご紹介します。



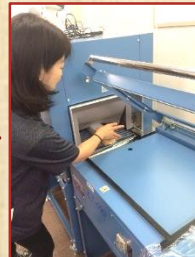
①シーラーにて商品にフィルムをかぶせる



②フィルムをカット



③商品がフィルムにゆるく包まれます。



④シュリンクのコンベアへ流します



コンベア内では**130℃**の熱で、フィルムを密着させます。



⑤数秒後には反対側へ。これで完了です。

コンベアへ商品を流すだけ…のようですが、複数の商品を組み合わせて綺麗な状態でシュリンク包装するのは、なかなか至難の業…。コムテックの物流部スタッフは、商品を手に受け取った方々をイメージしながら、より綺麗な包装ができるよう、日々、工夫・追求しながらシュリンク包装に挑んでいます。



シュリンク包装の導入により、コムテックでは梱包の幅・精度・スピードが格段とアップしております！

セット包装なども可能ですので、販促企画のご相談・その他ご要望等ございましたらお気軽にコムテックまで、ご連絡下さい。



シュリンク包装例。最後にラベルシールを貼り付けて完了です。

## コムテック営業カレンダー（平成28年12月～平成29年2月）

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 休
4 休	5	6	7	8	9	10 休
11 休	12	13	14	15	16	17 休
18 休	19	20	21	22	23 休	24 休
25 休	26	27	28	29 休	30 休	31 休

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1 休	2 休	3 休	4 休	5 ※	6	7 休
8 休	9 休	10	11	12	13	14 休
15 休	16	17	18	19	20	21 休
22 休	23	24	25	26	27	28 休
29 休	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 休
5 休	6	7	8	9	10	11 休
12 休	13	14	15	16	17	18 休
19 休	20	21	22	23	24	25 休
26 休	27	28				

※年始1月5日(木)の営業は午後からとなります。

